

行政評価シート(事後評価)

コード 7-2-7	事務事業名 商工業振興の拠点施設の整備の検討	所管部課 生活環境部産業振興課
--------------	---------------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的		根拠法令等	
	市内商工業の振興並びに市内労働環境の整備改善のための拠点となる施設を設置するとともに、商工会の合併に伴い既存の施設が手狭となったことを踏まえ、商工会の拠点となる施設の設置を検討する。		<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領	
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要・補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等			
	総合計画実施計画には毎年度計上しているが、現在のところ未実施である。平成20年度に予定している「商店街振興プラン」(平成15年3月)の見直しの中で改めて検討していきたい。			
事業開始時期	16	年度	実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業費データ	項目	単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	事業費(A)					
財源: 国庫支出金・都支出金	千円					
財源: 地方債						
財源: 内: その他()						
財源: 認識: 一般財源		0	0	0	0	
所要人員(B)	人		0.01	0.01	0.01	0.01
人件費(C)=平均給与×(B)	千円		82	82	82	82
臨時職員等賃金(C')	千円					
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円		82	82	82	82
単位当たりコスト (E)=(D)/(拠点施設の整備数)	千円		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

評価指標の設定	活動等指標		単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	拠点施設の整備数	実績値	施設	0	0	0	
		実績値					
	(指標の説明・数値変化の理由 など) 新たに整備した拠点施設						
	成果指標		単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	一 市内の事業所数	目標値	か所	1	1	1	
		実績値	か所	2	2	2	
	二 次	目標値					
		実績値					
	(指標の説明・数値変化の理由 など)						

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	ハード面での取組は当該課だけは難しく、商工会、並びに市の企画部、総務部との協議が必要である。 庁舎一元化の際の合併を視野に入れ検討したい。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	通常1市1事業所である。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	特になし

コード 7-2-7	事務事業名 商工業振興の拠点施設の整備の検討	所管部課 生活環境部産業振興課
--------------	---------------------------	--------------------

【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	1		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	『総合計画』『商店街振興プラン』(平成15年3月)に基づいて行う事業である。商工会、市の企画部・総務部と協議しながらの取組が必要となる。
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	3			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	1			
受益者負担の適切さ	3			
市民ニーズの把握	1			

【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	1		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	『総合計画』『商店街振興プラン』に位置づけた事業であるが、施設運営の主体となる他団体(商工会)の拠点整備に対するニーズが必ずしも明確ではなく、結果的に事業展望が見えていない。 いったんリセットしゼロから検討する発想も必要であり、平成20年度に予定している『商店街振興プラン』の見直しの中で、ニーズ把握を含めて事業の必要性について抜本的に検討されたい。
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	3			
直接のサービスの相手方	1			
事業内容等の適切さ	1			
受益者負担の適切さ	3			
市民ニーズの把握	1			

【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	『総合計画・前期基本計画』に位置づけられた事業であり、平成20年度に見直すことになる。商工会組織の一体化により市としての役割は終えており、二次評価結果を踏まえ、今後の事業の位置づけについて抜本的に見直されたい。